



Japan Health Care College

平成 30 年度
(2018 年度)
事業報告書

自 平成 30 (2018) 年 4 月 1 日
至 平成 31 (2019) 年 3 月 31 日

学校法人
日本医療大学

平成 30 年度 学校法人日本医療大学事業報告

[I] 法人の概要

1 建学の精神及び教育理念

学校法人日本医療大学（以下「本法人」という。）は、平成元年に社会福祉法人札幌栄寿会（現ノテ福祉会）が設置した日本福祉学院を起源とし、医療と福祉の人材育成のため更なる発展をめざし平成5年に社会福祉法人から分離独立して設立されました。以来、本法人は、実践的な知識と技術を持ち専門職業人としての態度を修得した職業人の育成を通じて、社会に貢献してきました。専門学校では、3校に7学科を擁し、30年間にわたり5,960人の有為な人材を輩出しています。

平成26年4月には専門学校日本福祉看護・診療放射線学院の看護学科を発展継承する形で日本医療大学（以下「本学」という。）保健医療学部看護学科を開学し、平成27年4月には専門学校日本福祉リハビリテーション学院の理学療法学科及び作業療法学科を発展継承する形で本学保健医療学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）を開設しました。さらに、平成28年4月、専門学校日本福祉看護・診療放射線学院の診療放射線学科を発展継承する形で本学保健医療学部診療放射線学科を開設しました。

平成31年3月には保健医療学部看護学科第二期生とリハビリテーション学科第一期生の卒業生を送り出しました。

医療と福祉の現場から誕生した日本医療大学は、

『人は人を愛し 人にふれることによって 自らも成長する』

という基本理念のもと、この理念を実現するために5つの教育理念

「職業人になる自覚をもとう」「自律した人間になろう」「確かな専門知識・技術を修得しよう」

「社会に貢献できる専門職になろう」「問題解決能力を身につけよう」を掲げ、

病める人や障がいを持つ人を含む全ての人々が自立し、その尊厳が重んぜられ暮

らせる社会の実現を目指し、社会に必要とされる医療・福祉の人材を養成します

2 日本医療大学の三つのポリシー

(1) 保健医療学部看護学科

1) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

看護学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

- ① 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
- ② 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
- ③ 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
- ④ 科学的根拠に基づき、対象者に必要な看護を提供できる能力
- ⑤ 科学的思考をもって主体的に学修し、看護学を発展させる能力

2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

看護学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、演習、ゼミナール等の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

- ① 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
- ② 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる能力を育成するために、「社会と健康支援」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
- ③ 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「健康と疾病」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
- ④ 高度で専門的な看護の実践能力の育成のため、看護の基本、対象の特徴と看護実践、看護の統合学習について学ぶ専門教育科目を配置する
- ⑤ 将来の看護職業人としての自覚を持ち、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働して働くための豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

3) アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

看護学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

- ① 看護学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、看護学の学修に意欲と熱意を持つ人
- ② 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
- ③ 人の健康に関心を持ち、地域の保健医療福祉、社会に貢献する意志のある人
- ④ 人に関心を持ち、あたたかい心で人とコミュニケーションができる人
- ⑤ 知的好奇心を持ち、探究心と想像力で自ら学ぶ意欲を持つ人
- ⑥ 基本的な生活態度が身につけており、心身の健康に気を配れる人

(2) 保健医療学部リハビリテーション学科

1) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

リハビリテーション学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

- ① 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
- ② 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
- ③ 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
- ④-1 対象者の運動機能を改善するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な理学療法を提供できる能力（理学療法学専攻）
- ④-2 対象者の主体的な生活を支援するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な作業療法を提供できる能力（作業療法学専攻）
- ⑤ 科学的思考をもって主体的に学修し、理学療法学・作業療法学を発展させる能力

2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

リハビリテーション学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、演習、ゼミナール等の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

- ① 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
- ② 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するために、「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」について学ぶ専門基礎科目を配置する
- ③ 科学的根拠に基づいた理学療法・作業療法の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の

構造と機能および心身の発達」、「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」について学ぶ専門基礎科目を配置する

- ④-1 対象者の運動機能の改善を目的とした、高度で専門的な理学療法の実践能力育成のため、理学療法評価法および治療法について学ぶ専門教育科目を配置する（理学療法学専攻）
- ④-2 対象者の主体的な生活を支援することを目的とした、高度で専門的な作業療法の実践能力育成のため、作業療法評価法および治療法について学ぶ専門教育科目を配置する（作業療法学専攻）
- ⑤ 豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

3) アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

リハビリテーション学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲のある人材を求める。

- ① 理学療法士・作業療法士を志している人
- ② 理学療法学・作業療法学を学ぶために必要な基礎学力のある人
- ③ 基礎的コミュニケーション能力を有している人
- ④ 他者を思いやる心がある人
- ⑤ 何事にも根気強く臨み、責任を持って最後までやりとげる人
- ⑥ 基本的生活態度が身につけており、心身の健康に気を配れる人
- ⑦-1 人の運動や動作のメカニズムに関心を持っている人（理学療法学専攻）
- ⑦-2 人の生活を専門的な視点から支援し、社会に貢献したいと思っている人（作業療法学専攻）

(3) 保健医療学部診療放射線学科

1) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

診療放射線学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

- ① 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
- ② 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
- ③ 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
- ④ 科学的根拠に基づき、放射線の画像診断と放射線治療を提供できる能力
- ⑤ 科学的思考をもって主体的に学修し、診療放射線学を発展させる能力

2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

診療放射線学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、実験・実習、演習の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

- ① 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
- ② 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するために、「保健医療福祉と診療放射線」について学ぶ専門基礎科目を配置する
- ③ 科学的根拠に基づいた診療放射線の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「保健医療における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術」について学ぶ専門基礎科目を配置する
- ④ 高度で専門的な診療放射線の実践能力を育成するため、診療放射線検査法、放射線治療法、放射線安全管理法について学ぶ専門教育科目を配置する
- ⑤ 豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

3) アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

診療放射線学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

- ① 診療放射線技師を志している人
- ② 診療放射線学を学ぶために必要な基礎学力のある人
- ③ 基礎的コミュニケーション能力を有している人
- ④ 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
- ⑤ 知的好奇心を持ち、探究心と想像力で自ら学ぶ意欲を持つ人
- ⑥ 基本的生活態度が身につけており、心身の健康に気を配れる人

3 学校法人の沿革

- 平成元年 4月 社会福祉法人札幌栄寿会〔現：社会福祉法人ノテ福祉会〕が日本福祉学院（厚生省指定介護福祉士養成施設）を設置 総合福祉科を開設（2年課程）入学定員50人
- 平成 2年 4月 日本福祉学院を専門学校日本福祉学院に名称変更（専修学校認可）
- 平成 5年 3月 学校法人つしま記念学園〔現：学校法人日本医療大学〕設立（社会福祉法人札幌栄寿会から分離独立）
- 平成 6年 4月 専門学校日本福祉学院 社会福祉士一般通信課程を開設 入学定員300人
- 平成 7年 4月 専門学校日本福祉リハビリテーション学院を設置
理学療法学科を開設（4年課程）入学定員40人
作業療法学科を開設（4年課程）入学定員40人
- 平成 8年 4月 専門学校日本福祉看護学院を設置
看護学科を開設（4年課程）入学定員50人
- 平成12年 4月 専門学校日本福祉看護学院
人間総合科学大学人間科学部人間科学科（通信課程）の併修開始
- 平成15年 4月 専門学校日本福祉学院
精神保健福祉士短期通信課程を開設 入学定員200人
- 平成16年 4月 専門学校日本福祉リハビリテーション学院
診療放射線学科を開設（4年課程）入学定員50人
- 平成18年 4月 専門学校日本福祉リハビリテーション学院
言語聴覚学科を開設（4年課程） 入学定員40人
- 平成21年 4月 専門学校日本福祉学院
精神保健福祉士一般通信課程を開設 入学定員100人
- 平成21年 4月 専門学校日本福祉看護学院の校名を専門学校日本福祉看護・診療放射線学院に変更し、看護学科及び診療放射線学科の2学科を開設
- 平成24年 4月 専門学校日本福祉学院
社会福祉士短期通信課程を開設 入学定員100人
- 平成25年10月 法人名を「学校法人つしま記念学園」から「学校法人日本医療大学」に変更
- 平成26年 4月 日本医療大学を開学 保健医療学部看護学科を開設 入学定員80人
- 平成26年 4月 専門学校日本福祉看護・診療放射線学院
看護学科（入学定員50人）の学生募集停止
- 平成26年 4月 専門学校日本福祉学院
社会福祉士学科（入学定員40人）の学生募集停止
精神保健福祉士一般通信科（入学定員100人）の学生募集停止

- 平成27年 4月 日本医療大学保健医療学部にリハビリテーション学科を開設
入学定員80人（理学療法学専攻40人、作業療法学専攻40人）
- 平成27年 4月 専門学校日本福祉リハビリテーション学院
理学療法学科（入学定員40人）、作業療法学科（同40人）、言語聴覚学科（同40人）の学生募集停止
- 平成28年 4月 日本医療大学保健医療学部に診療放射線学科を開設 入学定員50人
- 平成28年 4月 専門学校日本福祉看護・診療放射線学院
診療放射線学科（入学定員50人）の学生募集停止
- 平成28年 4月 専門学校日本福祉学院
介護福祉学科（入学定員50人）の学生募集停止
- 平成28年10月 学校法人日本医療大学生涯学習センターを設置
研修事業部及び通信教育事業課（社会福祉士一般通信科、社会福祉士短期通信科、精神保健福祉士短期通信科）を開設
- 平成29年 3月 専門学校日本福祉看護・診療放射線学院 看護学科を閉科
- 平成29年 3月 専門学校日本福祉学院 介護福祉学科を休科
- 平成30年 4月 専門学校日本福祉リハビリテーション学院の廃止
- 平成30年 7月 日本医療大学保健医療学部看護学科の収容定員増（320人→400人）の認可（変更時期：平成31年4月）
- 平成30年 8月 日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科の収容定員増（320人→480人）の認可（変更時期：平成31年4月）
- 平成30年10月 専門学校日本福祉学院 日本語学科を開設（収容定員100人）

4 設置する学校等

(平成30年度)

名称 (所在地)	開設年度	学部・学科（入学定員）	備考
日本医療大学 (真栄キャンパス：札幌市清田 区真栄434番地1) (恵み野キャンパス：恵庭市恵 み野西6丁目17番3号)	平成26年度	保健医療学部看護学科（80）	
	平成27年度	保健医療学部リハビリテーション学科（80）	理学療法学専攻(40) 作業療法学専攻(40)
	平成28年度	保健医療学部診療放射線学科（50）	
専門学校日本福祉看護・診 療放射線学院 (札幌市清田区真栄 434 番 地 1)	平成16年度	診療放射線学科（50）	H28年4月募集 停止 H31年度廃止予 定
専門学校日本福祉学院 (札幌市豊平区月寒西2条 5丁目1番2号)	平成元年度	介護福祉学科（50）	休科中
	平成30年度	日本語学科（100）※	
学校法人日本医療大学 生涯学習センター (札幌市豊平区月寒西2条 5丁目1番2号)	平成6年度	通信課程 社会福祉士一般通信科（400） 社会福祉士短期通信科（200） 精神保健福祉士短期通信科（300）	H29年度専門学 校日本福祉学 院から事業移 管
	平成24年度		
	平成15年度		

※専門学校日本福祉学院日本語学科は収容定員を記載

5 学生数の状況

(1) 日本医療大学 保健医療学部

(平成30年5月1日現在)

学部・学科	入学定員 (人)	収容定員 (人)	学生数 (人)				
			1年次	2年次	3年次	4年次	計
看護学科	80	320	93	79	92	82	346
リハビリテーション学科	80	320	70	45	65	44	224
理学療法学専攻	40	160	44	34	41	31	150
作業療法学専攻	40	160	26	11	24	13	74
診療放射線学科	50	150	59	55	43	0	157
計	210	790	222	179	200	126	727

※診療放射線学科の収容定員(人)は、学科完成前のため現時点の収容定員数

(2) 専門学校日本福祉看護・診療放射線学院

(平成30年5月1日現在)

学 科	入学定員 (人)	収容定員 (人)	学生数 (人)				
			1年次	2年次	3年次	4年次	計
診療放射線学科	—	50	—	—	—	43	43
計	—	50	—	—	—	43	43

※平成28年度から学生募集停止、平成31年度廃止予定

(3) 学校法人日本医療大学生涯学習センター通信教育事業課

(平成30年5月1日現在)

学 科	入学定員 (人)	収容定員 (人)	学生数 (人)		
			1年次	2年次	計
社会福祉士一般通信科	400	800	157	205	362
社会福祉士短期通信科	200	200	74	—	74
精神保健福祉士短期通信科	300	300	144	—	144
計	900	1,300	375	205	580

※通信教育事業課は、平成29年度に専門学校日本福祉学院通信課程から移管

6 卒業生数一覧

(平成31年3月31日現在)

学校・学部 (開設年度)学科	修業年限	卒業生 (人)
日本医療大学 保健医療学部		計 188
(H26～) 看護学科	4年	146
(H27～) リハビリテーション学科 理学療法学専攻	4年	29
(H27～) リハビリテーション学科 作業療法学専攻	4年	13
(H28～) 診療放射線学科	4年	0
専門学校日本福祉学院		計 3,157
(H 1～H 6) 総合福祉科	2年	477
(H 4～H 6) 総合福祉ソーシャルワーカー科	3年	47
(H 7～H10) ソーシャルワーカー科	3年	241
(H 7～H 8) ソーシャルワーカー研究科	4年	84
(H 7～H15) ケアワーカー科	2年	765

(H 9～H14) 福祉ソーシャルワーカー科	3年	187
(H 9～H14) 医療ソーシャルワーカー科	3年	138
(H13～H15) ソーシャルワーカー科	3年	78
(H15～H26) 社会福祉士科	1年	303
(H16～H17) 福祉サービス科	2年	146
(H16～H18) 福祉環境科	2年	41
(H16～H20) 福祉総合科	3年	148
(H21～H24) 社会福祉学科	3年	178
(H21～H24) 介護福祉学科	2年	324
専門学校日本福祉リハビリテーション学院		計 1,544
(H 7～H29) 理学療法学科	4年	757
(H 7～H29) 作業療法学科	4年	662
(H18～H29) 言語聴覚学科	4年	125
専門学校日本福祉看護・診療放射線学院		計 1,259
(H 8～H28) 看護学科	4年	758
(H16～H30) 診療放射線学科	4年	501
		総数 6,148

※生涯学習センター通信教育事業課の卒業生を除く

7 理事及び監事 (定数：理事6人・監事2人)

[任期：平成30年4月1日から平成32年3月31日まで]

(平成30年4月1日現在)

区分	氏名	常勤・非常勤の別	選任区分	摘要
理事長	対馬 徳昭	常勤	7-1-3	重任 当初就任：H 5. 3
副理事長	対馬 輝美	常勤	7-1-3	重任 当初就任：H 5. 3
常務理事	黒澤 勝昭	常勤	7-1-2	重任 当初就任：H25. 10
理事	島本 和明	常勤	7-1-1	重任 当初就任：H28. 4
理事	檜崎 基範	常勤	7-1-2	就任 H30. 4. 1
理事	佐藤 良雄	非常勤	7-1-3	重任 当初就任：H26. 4
監事	田澤 泰明	非常勤	9-1	重任 当初就任：H15. 5
監事	佐藤 芳彰	非常勤	9-1	重任 当初就任：H 5. 3

※選任区分：理事「7-1-1」学長又は学院長（1人）

理事「7-1-2」評議員のうち評議員会において選任（2人）

理事「7-1-3」学識経験者のうちから理事会において選任（3人）

監事「9-1」理事会で選出し評議員会の同意を得て理事長が選任（2人）

8 評議員 (定数：13人)

[任期：平成30年4月1日から平成32年3月31日まで]

(平成30年4月1日現在)

区分	氏名	常勤・非常勤の別	選任区分	摘要
評議員	対馬 徳昭	常勤	26-1-3	重任 理事兼務
評議員	対馬 輝美	常勤	26-1-3	重任 理事兼務

評議員	黒澤勝昭	常勤	26-1-1	重任 理事兼務
評議員	島本和明	常勤	26-1-1	重任 理事兼務
評議員	榎崎基範	常勤	26-1-1	就任(H30.4.1) 理事兼務
評議員	佐藤良雄	非常勤	26-1-3	重任 理事兼務
評議員	太田誠	常勤	26-1-3	重任
評議員	平井淳一	非常勤	26-1-3	重任
評議員	福田耕一	非常勤	26-1-3	重任
評議員	南久俊	非常勤	26-1-3	重任
評議員	田村素子	非常勤	26-1-3	就任(H30.4.1)
評議員	片桐裕一	非常勤	26-1-3	就任(H30.4.1)
評議員	荒木めぐみ	非常勤	26-1-2	重任

※選任区分：「26-1-1」法人職員のうち理事会で推薦し、評議員会において選任（3人）
「26-1-2」本学園の卒業者で理事会において選任（1人以上3人以内）
「26-1-3」学識経験者のうちから理事会において選任（7人以上9人以内）

9 執行役員

[任期：平成30年4月1日から平成31年3月31日まで]

(平成30年4月1日現在)

氏名	役職	摘要
対馬徳昭	理事長	重任
対馬輝美	副理事長	重任
黒澤勝昭	常務理事	重任
島本和明	理事・日本医療大学学長	重任
榎崎基範	理事・日本医療大学事務局長	重任

10 教職員数

(1) 法人全体

(平成30年5月1日現在)

区分	日本医療大学	専門学校	生涯学習センター	法人	合計(人)
専任教員	55	7	7	0	69
専任職員	35	1	3	3	42
計	90	8	10	3	111

(2) 日本医療大学（再掲）

(平成30年5月1日現在)

専任教員	教授	准教授	講師	助教	助手	計(人)
	21	5	15	11	3	55
専任職員	事務	技術技能	医療	教務	その他	計(人)
	28	2	1	0	4	35

11 校地・校舎の状況

(平成30年4月1日現在)

区分	所在地	内容	摘要
校地	札幌市清田区真栄 412 番 8、415 番 9、416 番 6・7、434 番 5、434 番 9・10・11・12・13	面積 20,945.00 m ²	日本医療大学及び日本福祉看護・診療放射線学院の共用校地
校地	札幌市豊平区月寒西 2 条 5 丁目 339 番 4	面積 757.00 m ²	日本福祉学院校地
校地	札幌市豊平区月寒西 1 条 4 丁目 342 番 4	面積 726.00 m ²	日本福祉学院校地
校地	恵庭市恵み野西 6 丁目 17 番 1・3・4	面積 8,886.00 m ²	日本医療大学校地
校舎 4 棟	札幌市清田区真栄 434 番地 1	①看護棟 RC造 5 階建 延べ面積 3,969.13 m ² ②診療放射線棟 RC造 4 階建 延べ面積 5,411.28 m ² ③第 1 研究棟 RC造 5 階建 延べ面積 1,425.00 m ² ④第 2 研究棟 木造合金鋼板 2 階 延べ面積 445.95 m ²	①②：日本医療大学及び日本福祉看護・診療放射線学院の共用校舎 ③④：日本医療大学校舎
校舎 1 棟	札幌市豊平区月寒西 2 条 5 丁目 1 番 2 号	①日福 1 号館 RC造 4 階建 延べ面積 1,432.94 m ²	日本福祉学院及び生涯学習センター校舎
校舎 1 棟	札幌市豊平区月寒西 1 条 4 丁目 3 番 1 号	①日福 2 号館 RC造 4 階建 延べ面積 1,429.92 m ²	日本福祉学院校舎
校舎 2 棟	恵庭市恵み野西 6 丁目 17 番 3 号	①リハ 1 号館 RC造 4 階建 延べ面積 4,900.61 m ² ②リハ 2 号館 RC造 3 階建 延べ面積 1,664.04 m ²	日本医療大学校舎

[II] 平成 30 年度事業概要

1 日本医療大学

(1) 保健医療学部看護学科の定員の増員変更

平成 30 年 7 月、文部科学大臣から本学保健医療学部看護学科の定員の増員（入学定員を 80 人から 100 人）が認可されました（平成 31 年 4 月実施）。

厚生労働省の「第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書」では、看護職需給状況として「平成 23 年は約 56,000 人が不足し、平成 27 年でも 15,000 が不足する」と予測されており、平成 27 年度から看護師免許保持者の届出制度を発足させ、潜在看護師等の復職を促す試み等がなされています。現在でも不足している看護職ですが、2025 年問題に対応するためには、今後、約 200 万人の看護職を

確保することが必要とされています。

また、北海道には社会的な地域保健医療施策の整備に向け、急速に解決すべき看護職不足という課題があります。さらに、医療や福祉の分野において高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的に可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような地域の包括的な支援・サービス提供体制＝[地域包括ケアシステム]＝の構築や多様化・複雑化する医療・介護ニーズへの対応など、社会や保健医療を取り巻く環境の大きな変革期にも的確に対応することができる質の高い看護職を養成することが求められています。このような社会的背景から、日本看護協会は「大学における質の高い看護学教育の推進」をすすめるべく、看護学部・学科の入学定員拡充を文部科学省に要望しているところでもあります。本法人は、このような社会情勢を踏まえ、北海道、ひいては我が国が要請する看護の人材を確保するため、保健医療学部看護学科の収容定員の増員に至りました。

(2) 保健医療学部リハビリテーション学科の定員の増員変更

本学保健医療学部リハビリテーション学科について、入学定員を80人から120人（理学療法学専攻の入学定員を40人から80人に増員・作業療法学専攻の入学定員は40人のまま）に増員する学則変更認可申請を平成30年6月に行い、8月に文部科学大臣から認可されました（平成31年4月実施）。

我が国の人口構成は他国に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおり、平成37年にはいわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となり、超高齢社会が進行していきます。昭和50年代には主に青壮年期の患者を対象とした「病院完結型」医療が行われていましたが、近年では、男女とも平均寿命が80歳を超え、慢性疾患で複数の疾病を持つ老齢期の患者が中心の社会であって、現在は病気と共存しながらQOL(Quality of Life)の維持・向上を目指す時代です。

これからの医療は、「病院完結型」から、医療機関がそれぞれの得意分野を活かし、患者の住み慣れた地域や自宅を中心とした地域全体で治し支える「地域完結型」へと変化し、医療と介護が切れ目なくつながる時代に入りました。

厚生労働省は平成37年を目途に地域包括ケアシステムの構築を推進しています。理学療法士は、この地域包括ケアシステムを支える一員として、社会福祉チームと協働して訪問リハビリテーション事業所や通所リハビリテーション事業所、地域包括ケアを推進する病棟などでますます需要が高まることが予想されます。

このように、理学療法士の活動の場も高齢者医療福祉施設や在宅医療などの地域ケアへと急激に広がっており、今後は医療のみならず福祉の分野においても活躍できる人材の育成が必要になることから、本法人は保健医療学部リハビリテーション学科の収容定員の増員に至りました。

(3) 平成31年入学試験結果

保健医療学部の入学定員の増員（210人から270へ）に伴い、平成31年入学試験は、志願者の増加を図るため受験生の目線で入試制度を見直し、再構築しました。また、

- 従来リハビリテーション学科だけ実施していたA0入試を看護学科及び診療放射線学科においても実施しました。
- 高等学校との信頼関係を重視する推薦入試指定校を新たに導入し、学力上位層の出願促進を図りました。
- 昨年導入した大学入試センター試験利用入試について、前期日程・後期日程に加え、中期日程を新設し、医療系上位大学志願者の出願促進を図りました。
- 日本医療大学東京事務所及び日本医療大学仙台事務所を開設し、関東圏118校・東北圏62校に対し学生募集活動（高校訪問）を行いました。

1) 保健医療学部看護学科

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

入試区分	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	充足率%
AO入試	5	18	18	16	16	320.0
推薦入試指定校	10	2	2	2	2	20.0
推薦入試公募(前期)	30	24	24	24	24	80.0
推薦入試公募(後期)	5	10	10	10	10	200.0
一般入試(前期)	35	131	120	99	54	154.3
一般入試(後期)	6	25	19	8	3	50.0
センター利用入試(前期)	5	118	118	62	4	80.0
センター利用入試(中期)	2	6	6	3	1	50.0
センター利用入試(後期)	2	6	6	2	0	0.0
合計	100	340	323	226	114	114.0

2) 保健医療学部リハビリテーション学科

① 理学療法学専攻

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

入試区分	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	充足率%
AO入試	12	17	17	17	17	141.7
推薦入試指定校	10	6	6	6	6	60.0
推薦入試公募(前期)	10	10	10	10	10	100.0
推薦入試公募(後期)	8	0	0	0	0	0.0
一般入試(前期)	22	28	27	26	16	72.7
一般入試(後期)	4	2	1	1	1	25.0
センター利用入試(前期)	6	51	51	30	3	50.0
センター利用入試(中期)	4	2	2	2	1	25.0
センター利用入試(後期)	4	2	2	2	0	0.0
合計	80	118	116	94	54	67.5

② 作業療法学専攻

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

入試区分	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	充足率%
AO入試	6	8	8	8	8	133.3
推薦入試指定校	5	4	4	4	4	80.0
推薦入試公募(前期)	5	3	3	3	3	60.0
推薦入試公募(後期)	4	0	0	0	0	0.0
一般入試(前期)	11	6	6	6	2	18.2
一般入試(後期)	2	0	0	0	0	0.0
センター利用入試(前期)	3	11	11	11	1	33.3
センター利用入試(中期)	2	1	1	1	0	0.0
センター利用入試(後期)	2	1	1	1	1	50.0
合計	40	34	34	34	19	47.5

3) 保健医療学部診療放射線学科

(平成31年3月31日現在)

入試区分	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	充足率%
AO入試	3	10	9	6	6	200.0
推薦入試指定校	5	1	1	1	1	20.0
推薦入試公募(前期)	12	13	13	11	11	91.7
推薦入試公募(後期)	5	4	4	4	4	80.0
一般入試(前期)	16	51	48	42	34	212.5
一般入試(後期)	2	8	7	4	6	300.0
センター利用入試(前期)	3	70	70	19	1	33.3
センター利用入試(中期)	2	6	6	1	0	0.0
センター利用入試(後期)	2	2	2	1	0	0.0
合計	50	165	160	89	63	126.0

4) 保健医療学部集計

(平成31年3月31日現在)

入試区分	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	充足率%
AO入試	26	53	52	47	47	180.8
推薦入試指定校	30	13	13	13	13	43.3
推薦入試公募(前期)	57	50	50	48	48	84.2
推薦入試公募(後期)	22	14	14	14	14	63.6
一般入試(前期)	84	216	201	173	106	126.2
一般入試(後期)	14	35	27	13	10	71.4
センター利用入試(前期)	17	250	250	122	9	52.9
センター利用入試(中期)	10	15	15	7	2	20.0
センター利用入試(後期)	10	11	11	6	1	10.0
合計	270	657	633	443	250	92.6

(4) 平成30年度国家試験の合格者の状況

(平成31年3月31日現在)

学科・専攻	取得資格	新卒			全国全体平均%	全国新卒平均%
		受験者	合格者	合格率		
看護学科	看護師	77	75	97.4	89.3	94.7
リハビリテーション学科理学療法学専攻	理学療法士	29	29	100.0	85.8	92.8
リハビリテーション学科作業療法学専攻	作業療法士	13	10	76.9	71.3	80.0

(5) 就職・進学状況

1) 保健医療学部看護学科

(平成31年3月31日現在)

学科	内訳	求人数	希望者	就職先・進学先		
				道内	道外	計
看護学科	就職	10,042	77	61	16	77
	進学	-	0	-	-	-
合計		10,042	77	61	16	77

2) 保健医療学部リハビリテーション学科

① 理学療法学専攻

(平成31年3月31日現在)

専攻	内訳	求人数	希望者	就職先・進学先		
				道内	道外	計
理学療法学専攻	就職	2,292	29	29	0	29
	進学	-	0	-	-	-
合計		2,292	29	29	0	29

② 作業療法学専攻

(平成31年3月31日現在)

専攻	内訳	求人数	希望者	就職先・進学先		
				道内	道外	計
作業療法学専攻	就職	2,150	10	10	0	10
	進学	-	0	-	-	-
合計		2,150	10	10	0	10

2 専門学校・生涯学習センター

(1) 専門学校日本福祉リハビリテーション学院の閉校

専門学校日本福祉リハビリテーション学院（以下「本学院」という。）を発展継承する形で日本医療大学保健医療学部にはリハビリテーション学科を開設したことから、本学院は、平成27年度から学生募集を停止していましたが、在籍学生の全てが卒業したことをもって平成30年4月に閉校しました。

(2) 専門学校日本福祉学院日本語学科の開設

世界でもいち早く超高齢社会を経験している日本では、現在、少子高齢化が抱える諸問題を解決するための体制作りを国を挙げて取り組んでいます。この取り組みに関し、日本を凌ぐスピードで高齢化が進んでいる中国等のアジアの国々からも、我が国の高齢者支援制度、介護看護技術及び介護看護に携わる人材の育成に注目が集まっています。

本法人は、このような社会情勢を踏まえ、アジア諸国の若者に対する日本の介護・看護分野を学ぶ機会の提供、また将来母国の介護・看護の第一線で活躍できる人材を育成することを目的に平成30年10月に専門学校日本福祉学院に日本語学科を開設しました（本格的な学生の受け入れは平成31年4月から）。

学科概要

項目	概要
所在地	北海道札幌市豊平区月寒西2条5丁目1-2
開設	平成30年10月
コース	大学進学1年コース 4月入学 大学進学1.5年コース 10月入学 大学進学2年コース 4月入学
収容定員	100人
特徴	1クラス20人の少人数制 日本語レベル到達目標：N1・N2 日本語学校と大学進学予備校をセット

(3) 平成30年度国家試験の合格者の状況 (平成31年3月31日現在)

学校等・学科	取得資格	新卒			全国平均%
		受験者	合格者	合格率	
日本福祉看護・診療放射線学院	診療放射線学科	43	22	51.2	89.4
生涯学習センター	社福一般通信科	171	85	49.7	28.9
	社福短期通信科	64	25	39.1	28.9
	精神短期通信科	138	127	92.0	62.7

(4) 平成30年度就職・進学状況 (平成31年3月31日現在)

学校・学科	(卒業生数)	希望者	就職者	就職率	進学者
日本福祉看護・診療放射線学院	診療放射線学科(43)	22	16	72.7	0

3 日本医療大学の海外事務所の設置

日本医療大学及び専門学校日本福祉学院日本語学科に留学を希望する学生に対する募集活動を行うことを目的に海外事務所を設置しました。

- 平成30年9月 日本医療大学ソウル事務所 (所在地: 大韓民国ソウル市)
- 平成31年3月 日本医療大学中国事務所 (所在地: 中華人民共和国上海市)
- 平成31年3月 四川工業科技学院日本医療大学留学センター (所在地: 中華人民共和国四川省成都市)

4 会議開催状況

(1) 理事会及び評議員会の開催状況

開催会議	開催日時	出席者(書面表決)/定数	
		理事	監事
理事会	平成30年 4月 1日(日) 16:35~17:00	6/6	2/2
評議員会	平成30年 5月24日(木) 16:00~16:30	10(0)/13	2/2
理事会	平成30年 5月24日(木) 16:35~17:30	6/6	2/2
評議員会	平成30年 5月24日(木) 17:40~18:00	10(0)/13	2/2
評議員会	平成30年 9月 3日(月) 12:30~13:25	12(0)/13	2/2
理事会	平成30年 9月 3日(月) 13:30~14:40	5(0)/6	2/2
評議員会	平成30年12月17日(月) 12:00~12:50	13/13	2/2
理事会	平成30年12月17日(月) 13:00~14:10	6/6	2/2
評議員会	平成31年 3月13日(火) 12:00~12:30	13/13	2/2
理事会	平成31年 3月13日(火) 12:40~13:40	6/6	2/2
評議員会	平成31年 3月27日(水) 12:00~13:00	13/13	2/2
理事会	平成31年 3月27日(水) 13:10~14:30	6/6	2/2

(2) 執行役員会の開催状況

開催回数	開催日時	出席者
第97回	平成30年 4月10日(火) 15:00~16:30	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第98回	平成30年 5月 1日(月) 14:45~16:00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長

第 99 回	平成30年 5月10日 (水)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 100 回	平成30年 5月24日 (水)	10 : 45~12 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 101 回	平成30年 6月13日 (水)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 102 回	平成30年 6月21日 (木)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 103 回	平成30年 7月23日 (月)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 104 回	平成30年 8月 7日 (火)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 105 回	平成30年 8月23日 (火)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 106 回	平成30年 9月11日 (火)	13 : 00~14 : 30	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 107 回	平成30年10月 9日 (火)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 108 回	平成30年10月22日 (月)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 109 回	平成30年11月 8日 (木)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 110 回	平成30年11月27日 (火)	10 : 00~11 : 30	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 111 回	平成30年12月 5日 (水)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 112 回	平成30年12月20日 (木)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 113 回	平成31年 1月10日 (木)	13 : 00~14 : 30	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 114 回	平成31年 1月24日 (木)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 115 回	平成31年 2月 8日 (木)	12 : 30~13 : 30	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 116 回	平成31年 2月21日 (木)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 117 回	平成31年 3月 8日 (金)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長
第 118 回	平成31年 3月18日 (月)	13 : 30~15 : 00	理事長、副理事長、常務理事、学長、事務局長

5 規程等の制定及び改正

管理運営体制の整備及び強化を目的に規程等を制定及び改正した。

No.	規程名称	理事会承認	施行日	改正等概要
学校法人規程				
1	授業料等取扱規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	授業料免除を削る
2	給与規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	教員の職位資格要件変更に伴う級別資格基準変更、事務(エリア職)給与表変更
3	事務組織規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	事務局体制を3グループ2室制で整理
4	職務権限規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	今後専門学校が閉校となることから、大学を主体とした職務権限表に整理
5	寄付金受入規程	H30. 9. 3	H30. 9. 1	寄付受入の手続き等取り扱いルールについて規定(規程制定)
6	安全衛生管理規程	H30. 12. 17	H31. 1. 1	職場の安全及び衛生管理に関し、必要な事項を規定(規程制定)
7	衛生委員会規程	H30. 12. 17	H31. 1. 1	安全衛生管理規程の制定に関連し、目的の条項を変更
8	生涯学習センター規程	H30. 12. 17	H31. 4. 1	設置する会議(センター会議、部門別会議、その他必要な会議)を整理
9	就業規則	H30. 12. 17	H31. 4. 1	土曜休日の取得方法を明確化
		H31. 3. 13	H31. 4. 1	72歳まで特任教員として再雇用できる
10	職員定年規程	H31. 3. 13	H31. 4. 1	72歳まで特任教員として再雇用できる
11	組織規程	H31. 3. 13	H31. 4. 1	専攻長(学科長が選任・学長が任命)及び主任教授の制定、IR室設置

12	特待生制度規程	H31. 3. 13	H31. 4. 1	特待生の対象者に大学入試センター利用試験合格者を追加
13	賞罰規程	H31. 3. 13	H31. 3. 13	賞罰委員数を5人から7人に変更、委員を教員及び事務職員等から選任
14	授業料取扱に関する細則	H31. 3. 13	H31. 3. 13	延納願いの申請手続きと滞納時の催促手続きを明確化
15	人事考課規程	H31. 3. 13	H31. 4. 1	考課の活用に関し昇給・賞与への反映を削除
16	職員住宅貸与規程	H31. 3. 13	H31. 4. 1	職員に住宅を貸与する場合の管理及び使用に関し必要な事項を規定(規程制定)
17	危機管理マニュアル	H31. 3. 13	H31. 4. 1	危機に対し迅速かつ的確に対応するための危機管理体制その他基本事項を規定(規程制定)
大学規程				
18	運営会議規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	名称変更(旧:運営協議会)
19	入学試験委員会規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	名称変更(旧:入学者選抜実施委員会)
20	教員任用規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	職位の資格要件を変更
21	教員選考委員会規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	基本方針を明確化
22	教授会規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	改廃手続きを変更
23	学生委員会規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	委員会の審議事項のうち、理事会審議の必要な事項を理事長に報告
24	研究費に関する規程	H30. 5. 24	H30. 6. 1	旅費充当可能額を変更(2/3まで可)
25	職員の他大学等への出講等及び委員就任に関する規程	H30. 5. 24	H30. 4. 1	出講を年120時間限りに制限、委員等就任を2年限り(再任有)に規定
26	教員の選考に関する細則	H30. 5. 24	H30. 6. 1	教員任用規程の変更に関連し、選考基準の細則を規定(規程制定)
27	非常勤講師等に関する規程	H30. 12. 17	H31. 4. 1	非常勤講師等のうち特別講師(正課)を削除し、条項を整理
28	学生の懲戒に関する規程	H31. 3. 13	H31. 4. 1	教育的措置を追加(訓告、嚴重注意)し、懲戒の標準を明確化
29	ハラスメントの防止等に関する規程	H31. 3. 13	H31. 4. 1	セハラ・アカハラ・ハハラ等を整理し、全てのハラスメントに対応するよう全面改正
30	I R室規程	H31. 3. 13	H31. 4. 1	組織、業務内容及び運営に関し必要な事項を規定(規程制定)
31	名誉教授称号授与規程	H31. 3. 13	H31. 3. 13	名誉教授称号を授与するための基準及び手続に関し必要な事項を規定(規程制定)
32	日本医療大学学則	H31. 3. 27	H31. 4. 1	学部定員及びカリキュラムの変更ほか

6 寄付金

本法人が設置する大学の教育研究活動に要する経常的経費等に充てることを目的に、株式会社つしまマネージメントほか1社・一般個人2人から計201,450,000円の寄付金を受贈しました。

7 主な施設、設備等の取得または処分計画及びその進捗状況

該当事項なし

8 その他

(1) 平成30年度に締結した主な契約

該当事項なし

(2) 収益事業の状況

① 寄附行為上の収益事業

項目	収益事業 1	収益事業 2
事業種類	介護及び福祉職員教育・学習支援事業、通信教育事業	不動産賃貸業
寄附行為記載の種類	第 5 条第 1 項	第 5 条第 2 項
事業内容	各種の研修等の開講	老人福祉施設用敷地の賃貸
事業所在地	札幌市豊平区月寒西 1 条 4 丁目	札幌市清田区真栄 434 番地 1
事業開始年月	平成 18 年 4 月	平成 22 年 8 月
事業用に供する不動産	—	本法人所有地 1,392 ㎡

② 法人税法上の収益事業

該当事項なし

(3) 係争事件の有無とその経過

該当事項なし

(4) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

該当事項なし